

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	総合演習保育 I				
担当者氏名	坂口 静子、白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

学内で学んだ保育の知識や技術を生かして子どもと直接かかわり、保育の実際を体験的に学習する過程が保育実習である。保育現場では、日々子どもたちは様々な遊び(玩具・遊具、伝承遊び、絵本、紙芝居、パネルシアター、人形劇等)を体験している。本科目では、学生自身が実際に遊びをつくり体験することによって、それぞれの特質を理解し、保育における教育的意義を見出し、その価値を認識することを目指す。

《授業の到達目標》

- 保育現場における子どもの実態を知り、子どもを取り巻く現状を把握する。
- 遊びの面白さを実感し遊びの中で育つものについて考え、実践することでその意義を理解する。
- プレゼンテーションやディスカッションをすることによって、保育者としての必要な表現力やコミュニケーション力を身につける。

《成績評価の方法》

定期試験は実施しない。
 授業における貢献度、作品によって評価する。
 平常点(受講態度等)30% 遊具制作・発表等70%

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。
 適宜資料を配布する。
 注意事項：はさみ、のり、サインペン等を持ってくるよう指示することがある。
 造形材料の収集・購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

作品作成は授業外で完成させることもある。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	子どもを取り巻く環境の変化と子どもの現状について保育実践力を育成するために
2	身近な廃材遊び	廃材(新聞紙等)を使った感覚遊びからおもちゃ作りへ
3	紙芝居の仕組み	紙芝居作り 破った紙面から作る創作話
4	紙芝居の演じ方	紙芝居作品 グループ発表
5	子ども理解と保育の展開 ①	手遊びの場面の保育指導案 指導案作成の基本的な考え方
6	子ども理解と保育の展開 ②	絵本読み聞かせ場面の保育指導案 保育者の援助・配慮・留意点のとらえ方
7	子ども理解と保育の展開 ③	廃材(新聞紙等)を使ったおもちゃ作り指導案の作成 学生同士の共有
8	行事の意味と由来	社会行事、伝承行事、成長を祝う行事、安全健康に関する行事等の意義
9	ペープサートの製作	ペープサートを使ってのストーリーの展開
10	ペープサートの演じ方	ペープサートの特徴とその活用法
11	絵本の役割と魅力	より楽しい保育を行うための方法
12	様々な児童文化財	様々な児童文化財の特徴と保育活動方法 (紙芝居・エプロンシアター・パネルシアター等)
13	遊びと玩具の関係	年齢にふさわしい玩具・身近な素材を使っての玩具作り
14	自己紹介の工夫	人前でも自信をもって自分を表現する方法
15	まとめ	新しい保育内容の創造と保育者の役割